

学 校 名	山形市立西山形小学校 山形市大字柏倉 3 7 7 4 - 1 Tel 6 4 3 - 3 0 1 1 Fax 6 4 5 - 8 6 0 2	校 長	山 口 雅 和
		研究主任	加 藤 孝 子
研 究 主 題	主体的に学ぶ子どもの育成 （10年次） ～協働的な学びを通して思考力・表現力を育む授業の実践～		
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<p>本校は「たくましい心と体を持ち、進んで学び、郷土を愛する子ども」を教育目標に掲げ、短・中期的にめざす具体的な子どもの姿である「これからの社会の担い手として必要な学力や資質・能力を持ち、西山形地区に生まれ育ったことを「誇り」に感じている子ども」の実現に向けて教育活動に取り組んでいる。</p> <p>本主題を掲げて取り組み始めてから今年度で10年目を迎えるが、昨年度は、学校全体でねらう本校の児童に必要な「資質・能力」について話し合い、本校の児童に必要な資質・能力の一つである「表現力」についてもクローズアップさせて取り組んできた。そうした中で、①各学年の「資質・能力」に迫るためのカリキュラムをマネジメントし、授業をコーディネートしていくこと、②設定した「資質・能力」に迫る様々なアプローチ（横断的学習、ICT活用、地域学習、個別最適な学び、校舎改築移転に関わる学習活動など）をした授業づくりを行い、「見合う授業」を設定しながらその有用性や成果について児童の姿を通して話し合っていくことを重点に掲げ、授業実践を行ってきた。その中で、カリキュラムをマネジメントすることで教師も児童も見通しをもって学習を進めることができたこと、さらには、児童自らが進んで考えたり話し合ったりしながら意欲をもって学びに向かうことができたことなどが研究の成果として挙げられた。この成果を生かし、カリキュラム・マネジメントをもとに、日々の授業を互いに見合い、日常的な研修が進められるようにしていきたい。また、児童一人一人が主体的に学ぶためにも大きな意味をもつ「個別最適な学び」の進め方について、教師自身が指導法について研修を積むことができる機会を設定していきたい。</p> <p>そこで、今年度も、研究主題「主体的に学ぶ子どもの育成」～協働的な学びを通して思考力・表現力を育む授業の実践～を踏襲しながら、昨年度から研究の重点として取り組んできたカリキュラム・マネジメントをさらに充実させ、教師や児童の「〇〇したい」を実現していくとともに、日々の授業の積み重ねを行っていくこと（「見合う授業」）や、「個別最適な学び」の研修と実践を行い、児童一人一人の思いを実現させていくことをめざし、取り組んでいくこととする。</p>		

研究の重点	<p>① カリキュラム・マネジメントの充実を図り、児童の「〇〇したい」という思いを実現させながら主体的に学ぶ力を高めていく。</p> <p>② 日々の授業を公開し、日常的な研鑽を積むとともに、「個別最適な学び」を取り入れた学習の進め方について学び、実践していく。</p>
研究の内容	<p>主体的に学ぶ子どもを育成するために、協働的な学びの場を設定しながら、思考力・表現力を育む授業実践を行っていく。その際、「学習のねらいを明確にすること」「児童が思考するポイントを焦点化すること」を意識しながら授業実践を行い、具体的な児童の姿からカリキュラム・マネジメントにおける授業の設定の仕方やアプローチの仕方などの有効性について検証していく。また、今年度は特に「個別最適な学び」の学習実践に取り組み、さらに児童の主体的な学びにつながる実践を行っていく。</p>
研究の方法	<p>A カリキュラム・マネジメントを作成する時間を確保し、半期及び年間を見通しながらより具体的に計画を立て、実践できるようにする。また、カリキュラム・マネジメント表は、学級経営案や指導案としても活用できるように工夫する。</p> <p>B 様々な教科で実践を積み重ねていく。</p> <p>C 日常的な取り組みを互いに見合う時間（「見合う授業」と呼ぶ）をつくり、日常的な学びの場を設定していく。年間を通して子供の実態や成長を捉えながら、めざす子供の姿に向けた授業づくりを行う。また、全体で見合う授業の場も設定し、より深く話し合っていく。（授業研究会）</p> <p>D 見合う授業の後には、随時話し合いの場を設け、児童の姿から気づいたことやアプローチの仕方などについて語り合い、今後の授業づくりに生かしていけるようにする。</p> <p>E 授業者は、話題になったことや成果や今後の指導について全体に伝えるとともに、記録を残し、年度末のふり返りにつながるようにする。</p> <p>F 外部講師を招き、「個別最適な学び」等についての研修を行い、実践につなげていく。</p>